

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月2日

上場会社名 株式会社キムラ 上場取引所 東
 コード番号 7461 URL <https://www.kimuranet.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 勇介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長兼経営企画室長 (氏名) 八代 紀裕 TEL 011-721-4311
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	17,792	2.4	1,414	23.9	1,470	25.0	709	16.3
2020年3月期第2四半期	17,382	3.6	1,141	16.6	1,176	16.1	610	36.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,043百万円 (41.0%) 2020年3月期第2四半期 739百万円 (22.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	47.85	—
2020年3月期第2四半期	41.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	25,018	13,717	47.4	799.89
2020年3月期	23,991	12,823	46.6	753.77

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 11,864百万円 2020年3月期 11,180百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	0.9	1,600	0.6	1,650	0.2	850	7.0	57.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	15,180,000株	2020年3月期	15,180,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	347,124株	2020年3月期	347,124株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	14,832,876株	2020年3月期2Q	14,832,876株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響を受け、国内においても経済活動が制限され景気は急速に後退し、企業収益の悪化や個人消費の低迷など極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後は経済活動の再開が見られるものの、感染拡大の収束見通しは立っておらず、先行きにつきましては依然として不透明な状況であります。

このような状況のもと、当社グループでは、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、お取引先様、お客様ならびに当社グループ社員の安全確保に取り組み、事業活動の継続に努めてまいりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高177億92百万円(前年同四半期比2.4%増)、営業利益14億14百万円(同23.9%増)、経常利益14億70百万円(同25.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益7億9百万円(同16.3%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(卸売事業)

住宅市場は、新型コロナウイルス感染拡大による市況の冷え込みから、持家、貸家および分譲住宅の全てで前年を下回って推移しております。4月から8月までの新設持家着工数は全国で108,984戸(前年同期比15.5%減)、北海道で5,119戸(同12.8%減)と前年を下回っており、今後も厳しさが続くものと思われまます。このような状況のもと、工務店に対する営業支援のための提案型モデル住宅「Skogのいえ」の全国展開とその商品群のブランド化を進め、自然素材の輸入関連商品、ダクトレス全熱交換換気システム「Airsave」などの新商品開発と販売強化に努めてまいりました。しかしながら、上記の通り新型コロナウイルス感染症の影響から住宅市場を取り巻く環境は厳しさを増しており、売上高55億56百万円(前年同四半期比12.3%減)、営業利益4億30百万円(同19.3%減)となりました。

(小売事業)

ホームセンター業界においては、個人の節約志向は根強く、同業他社、他業種との競争の激化が続いております。このような状況のもと、お客様満足度の向上と経費削減による収益力の強化に努めてまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響による巣籠もり需要の高まり、ペット専門店の新規開店も業績に寄与し、売上高111億12百万円(前年同四半期比16.2%増)、営業利益10億65百万円(同71.5%増)となりました。

(不動産事業)

賃貸資産の適切な管理と効率的な運用を心掛けており、売上高1億75百万円(前年同四半期比2.2%増)、営業利益1億24百万円(同6.4%増)となりました。

(足場レンタル事業)

業務の効率化による生産性の向上と経費削減に努めておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響からリフォーム工事が大幅に減少したことに加え、函館営業所開設の経費が先行したこともあり、売上高3億92百万円(前年同四半期比32.0%減)、営業利益0百万円(同98.1%減)となりました。

(サッシ・ガラス施工事業)

工事現場での設計、監理、施工の基本を徹底することで業務の効率化に努めておりますが、前年受注した大型物件の代替受注が今年度はなく、売上高5億55百万円(前年同四半期比24.0%減)、営業損失4百万円(前年同四半期は営業利益41百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は250億18百万円となり、前連結会計年度末に比べて10億27百万円増加しております。これは主に、売上債権が7億17百万円、商品が2億99百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は113億円となり、前連結会計年度末に比べて1億32百万円増加しております。これは主に、買入債務が9億20百万円、未払法人税等が1億75百万円それぞれ増加したものの、借入金が10億50百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は137億17百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億94百万円増加しております。1株当たりの純資産は799円89銭となり、前連結会計年度末に比べて46円12銭増加しております。

なお、自己資本比率は47.4%となっており、前連結会計年度末と比較して0.8ポイント向上しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ95百万円減少し、27億40百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果による資金の増加は14億46百万円(前年同四半期は11億66百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が14億69百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果による資金の減少は3億29百万円(前年同四半期は2億30百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3億6百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果による資金の減少は12億12百万円(前年同四半期は19億35百万円の使用)となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金の返済による支出10億50百万円、配当金の支出1億48百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2020年4月30日付「2020年3月期 決算短信」において発表しております2021年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,847,234	2,752,235
受取手形及び売掛金	2,316,934	3,034,069
電子記録債権	145,745	145,949
商品	3,304,690	3,603,695
販売用不動産	67,429	67,429
その他のたな卸資産	27,417	27,608
その他	139,993	122,068
貸倒引当金	△17,392	△3,866
流動資産合計	8,832,051	9,749,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,824,709	7,902,499
土地	2,813,367	2,813,867
その他(純額)	2,510,624	2,431,191
有形固定資産合計	13,148,701	13,147,558
無形固定資産		
のれん	155,122	129,268
その他	147,679	146,359
無形固定資産合計	302,801	275,628
投資その他の資産		
その他	1,726,223	1,869,220
貸倒引当金	△18,286	△22,880
投資その他の資産合計	1,707,936	1,846,340
固定資産合計	15,159,440	15,269,527
資産合計	23,991,492	25,018,717
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,739,825	2,562,383
電子記録債務	376,483	474,519
短期借入金	2,776,100	2,115,200
未払法人税等	440,582	615,648
賞与引当金	162,266	200,644
その他	824,327	870,931
流動負債合計	6,319,584	6,839,328
固定負債		
長期借入金	3,425,000	3,035,000
役員退職慰労引当金	29,010	29,010
退職給付に係る負債	267,432	268,897
資産除去債務	327,689	330,528
その他	799,573	798,051
固定負債合計	4,848,705	4,461,487
負債合計	11,168,290	11,300,816

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,427	834,427
利益剰余金	9,443,860	10,005,246
自己株式	△132,934	△132,934
株主資本合計	10,938,702	11,500,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160,328	282,956
土地再評価差額金	81,585	81,585
その他の包括利益累計額合計	241,914	364,542
非支配株主持分	1,642,584	1,853,270
純資産合計	12,823,201	13,717,901
負債純資産合計	23,991,492	25,018,717

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	17,382,982	17,792,154
売上原価	12,673,762	12,611,100
売上総利益	4,709,219	5,181,053
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,368,813	1,490,995
賞与引当金繰入額	198,250	205,269
退職給付費用	19,986	10,910
貸倒引当金繰入額	1,525	13,487
その他	1,979,001	2,046,160
販売費及び一般管理費合計	3,567,576	3,766,824
営業利益	1,141,643	1,414,229
営業外収益		
受取利息	421	227
仕入割引	41,815	38,886
その他	45,014	65,310
営業外収益合計	87,252	104,424
営業外費用		
支払利息	13,257	10,756
売上割引	36,239	31,486
その他	2,814	5,807
営業外費用合計	52,311	48,050
経常利益	1,176,584	1,470,602
特別利益		
固定資産売却益	590	—
特別利益合計	590	—
特別損失		
固定資産除売却損	4	704
特別損失合計	4	704
税金等調整前四半期純利益	1,177,170	1,469,898
法人税、住民税及び事業税	476,206	578,307
法人税等調整額	△39,522	△28,853
法人税等合計	436,684	549,454
四半期純利益	740,486	920,443
非支配株主に帰属する四半期純利益	130,377	210,729
親会社株主に帰属する四半期純利益	610,108	709,714

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	740,486	920,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△764	122,584
その他の包括利益合計	△764	122,584
四半期包括利益	739,721	1,043,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	609,763	832,342
非支配株主に係る四半期包括利益	129,958	210,686

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,177,170	1,469,898
減価償却費	351,006	349,419
のれん償却額	25,853	25,853
賞与引当金の増減額(△は減少)	41,343	38,378
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12,684	△8,932
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12,533	1,465
受取利息及び受取配当金	△8,805	△10,062
支払利息	13,257	10,756
固定資産除売却損益(△は益)	△586	704
投資有価証券売却損益(△は益)	375	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,120,931	△716,898
たな卸資産の増減額(△は増加)	△272,985	△299,196
仕入債務の増減額(△は減少)	1,130,158	920,595
未払消費税等の増減額(△は減少)	57,850	50,755
その他	75,182	13,337
小計	1,494,107	1,846,076
利息及び配当金の受取額	8,805	10,062
利息の支払額	△13,466	△10,663
法人税等の支払額	△323,203	△398,801
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,166,242	1,446,673
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△206	△198
有形固定資産の取得による支出	△211,832	△306,187
有形固定資産の売却による収入	1,035	—
無形固定資産の取得による支出	△24,457	△22,070
投資有価証券の取得による支出	△2,560	△2,673
投資有価証券の売却による収入	1,037	—
貸付金の回収による収入	6,242	1,359
出資金の払込による支出	—	△10
その他の収入	—	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△230,742	△329,778
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△350,000	△600,000
長期借入金の返済による支出	△470,800	△450,900
配当金の支払額	△177,380	△148,362
リース債務の返済による支出	△13,592	△12,829
連結の範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	△923,552	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,935,325	△1,212,091
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△999,825	△95,196
現金及び現金同等物の期首残高	3,976,700	2,835,399
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,976,874	2,740,202

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	6,336,069	9,566,246	171,442	577,517	731,706	17,382,982
セグメント間の 内部売上高又は振替高	273,086	2,336	19,728	552	2,413	298,116
計	6,609,155	9,568,582	191,170	578,069	734,120	17,681,098
セグメント利益	533,090	621,030	116,935	38,810	41,609	1,351,475

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,351,475
セグメント間取引消去	770
全社費用(注)	△210,602
四半期連結損益計算書の営業利益	1,141,643

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	5,556,518	11,112,155	175,244	392,493	555,740	17,792,154
セグメント間の 内部売上高又は振替高	284,091	1,422	24,340	290	5,954	316,098
計	5,840,609	11,113,578	199,584	392,783	561,695	18,108,252
セグメント利益 又は損失(△)	430,115	1,065,007	124,400	749	△4,417	1,615,855

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,615,855
セグメント間取引消去	△1,035
全社費用(注)	△200,590
四半期連結損益計算書の営業利益	1,414,229

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。